

GOKASE

茶を囲み語らう

ごかせ議会です!

五ヶ瀬町議会広報誌 第79号 令和8年1月9日発行

九州中央自動車道 着実に前進！

建設工事が進む九州中央自動車道五ヶ瀬高千穂道路と蘇陽五ヶ瀬道路のうち五ヶ瀬町内の3工区について、令和7年10月23日に九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会で現地調査を行いました。

●新室野橋(仮称)

室野バス停付近では、国道218号線に架かる新室野橋(仮称)の橋脚工事が進んでいます。今年度中には、橋台A2と橋脚P1が完成する予定です。(図1参照)

●五ヶ瀬東IC(仮称)

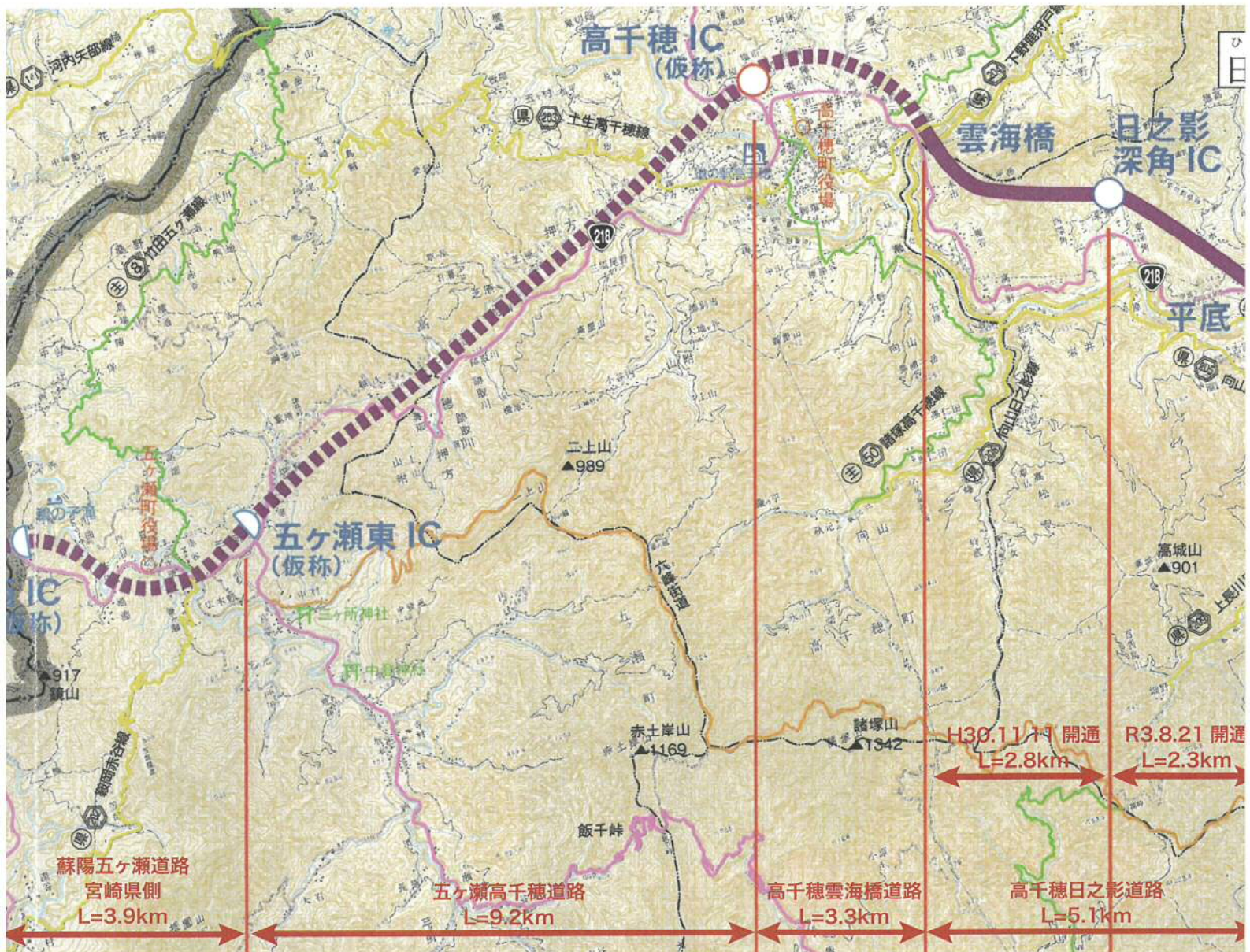
国道218号線と国道503号線が交差するGパーク交差点付近では、五ヶ瀬東IC(仮称)とその周辺の山の掘削工事が進んでいます。今年度中には、図2内の緑色に塗った箇所の工事が完成する予定です。

なお、五ヶ瀬東IC(仮称)は、高千穂町方面へのみアクセスするハーフICで、ここから熊本方面へ行くことはできません。



▲【図1】新室野橋(仮称) 工事完成予想俯瞰図

▲【図2】五ヶ瀬東IC(仮称) 工事完成予想図



第4回定例会

令和7年第4回定例会は、12月1日に開会し、12月9日まで9日間の日程で行われました。

本定例会では、令和7年度の五ヶ瀬町一般会計、五ヶ瀬町簡易水道事業会計、五ヶ瀬町国民健康保険特別会計、五ヶ瀬町介護保険特別会計、五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計の補正予算を審査し、それぞれ可決しました。一般会計補正予算(第3号)については、歳入歳出それぞれ2億900万円を追加し、総額67億7千800万円で可決されました。

また、補正予算の他に、条例改正6件、財産処分1件等、全17件をそれぞれ可決しました(表決結果は3ページ参照)。定例会2日目には、5名の議員から一般質問が行われました(内容は5ページ参照)。

令和7年度五ヶ瀬町一般会計補正予算 (第3号)

補正額

2億900万円



歳入歳出予算総額

67億7,800万円

令和7年度五ヶ瀬町一般会計補正予算 (第3号) 主な事業



ふるさと応援寄付金

80,000,000円

今年度の寄付金受入額が当初予算の3億円を超える見込みとなったため、増加見込み額を計上。

新規開業等支援事業補助金

1,662,000円

今年度、町内で新規開業する2事業者に対して交付する補助金。

営農飲雑用水施設整備工事

23,020,000円

原目地区の営農飲雑用水施設整備工事請負費。県単事業。令和8年度に予定していた工事区間を今回前倒しで実施する。

多目的トイレ設置工事

5,071,000円

五ヶ瀬中学校の校舎1階と2階のトイレの側に多目的トイレを増設する工事請負費。

道路改良事業

6,801,000円

小川線等町内道路の改良工事請負費。補助事業。令和8年度に予定していた工事区間を今回前倒しで実施する。

障害者自立支援事業 介護給付・訓練棟給付事業

26,154,000円

自宅におけるサービス利用、事業所における生活支援、自立訓練、就労支援などを行う費用の見込額不足分を増額。

地域介護・福祉空間整備等 事業費補助金

7,730,000円

非常用自家発電設備を整備する認知症グループホーム等防災改善等支援事業の補助金。



鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金

8,000,000円

捕獲従事者への捕獲経費補助金。例年12月以降に捕獲された分について、予算が不足することから不足分を増額。

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 棄…棄権 ※議長は表決に参加しないため「-」となっています

令和7年第4回 五ヶ瀬町議会定例会 表決結果一覧			吉村	黒木	矢野	甲斐	小笠原	田中	渡邊	佐藤	甲斐
種類	議案名	審査結果	優	孝次	宏	義則	将太郎	春男	孝	成志	政國
議案	財産の処分について（旧上組保育所）	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案	五ヶ瀬町乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案	五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	五ヶ瀬町長等の給与に関する条例及び五ヶ瀬町教育長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	五ヶ瀬町職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	公の施設に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
議案	令和7年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	令和7年度五ヶ瀬町簡易水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	令和7年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	令和7年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	令和7年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	五ヶ瀬町過疎地域持続的発展計画の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-
発議	議員派遣について	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	-

補正予算質疑

令和7年第4回定例会 初日（12月1日）に、令和7年度一般会計補正予算（第3号）の質疑が行われ、各議員から9件の質疑がありました。主なものについて掲載します。

鳥獣被害関連補助金 3件について

【佐藤】増額された補助金と減額された補助金の説明を求める。
 【農林課長】鳥獣保護区等周辺被害防止対策事業補助金（主に猪と鹿用電気柵の設置事業）と鳥獣被害防止総合支援事業補助金（ワイヤーメッシュ柵等の導入事業）の減額は、どちらも入札残額によるものである。鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金の増額は、例年12月以降に捕獲された分について、予算が不足することから国へ増額要望することにより計上した。

地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金について

【田中】内容は、福祉課長逍遙亭が行う認知症グループホーム等防災改善等支援事業で、非常用自家発電設備を整備するもの。

公営住宅の住宅管理修繕料について

【渡邊】住宅の場所と修繕の内容は、

【総務課長】住宅の指定はない。修繕料が不足しており、冬季の水道管破裂等を見越した額と、退去時の整備費で100万円を見込んで計上した。

県単営農飲雑用水施設整備工事について

【甲斐義】内容は、

【農林課長】鞍岡の原目地区の水道工事のうち、令和8年度に予定していた工事区間について、県の予算があるとの相談があり、前倒しで今回補正で組ませていただいた。

ふるさと納税関係予算について

【矢野】直近の寄附額は、【企画課長】11月末現在、2億6千6百万円程度。
 【矢野】今回増額補正した寄付総額3億8千万円への見込みは、
 【企画課長】達成するための取組を進めていく。

特産センター駐車場改修工事について

【小笠原】内容は、
 【企画課長】現在、特産センター駐車場の横を土捨て場として盛土をしているが、その影響で既存の駐車場の一部が沈下しており、危険な状態であることから、中央にある桜や看板等を撤去して、現在盛土している部分と特産センターの駐車場をフラットにして安全に駐車できるように整備をしたと考えている。
 【小笠原】工期は、
 【企画課長】年度内には完成するように進めたい。

令和7年度・五ヶ瀬町野菜別売上実績(金額千円)

	10a 収量 (kg)	10a 売上金額
きゅうり	7,655	2,612
トマト	4,141	1,833
ミニトマト	3,181	2,846
ナス	7,168	2,117
ピーマン	3,945	1,512
ぶどう	1,300	508

▲(JA 高千穂地区農産部資料) *数字は平均値です。



わたなべ たかし
渡邊 孝 議員

五ヶ瀬町産ぶどう安定確保対策補助金の増額について

【渡邊】令和8年度予算、補助金増額の考え方は。

【町長】現在予算調整中であり、物価高騰等も含めて総合的に適切に検討する。

【渡邊】ぶどう10a当たりの品種別収益と、生産品種の選定について。

【農林課長】10a当たり、生産量1,300キロ・約50万円の収益で、品種選定は、町ではしていない。生産品種に偏りがなく、ワインナリーと生産者で調整を行っている。

【渡邊】生産量と生産者が年々減少しているが、要因をどう考えるか。

【農林課長】大きな要因は、高齢化と後継者不足と考える。

【渡邊】生産者減少の要因は、ぶどう生産による収入額だと思う。ワイン価格が値上げされた時に、ぶどう買取価格の値上は検討されたのか。

【農林課長】ぶどう買取価格の検討はしなかった。

【渡邊】現在のぶどう生産状況を見ると、1キロ当たり約80円の補助金増額が必要と思うが、来年度ぶどう安定確保対策補助金の増額の考えを再度伺う。

【町長】生産意欲の向上、補助金創設の意義、他産業との兼ね合いを考え、更には生産者の方々とワイナリーとの意見交換を行い、総合的に判断する。



小中学校の山村留学について

【渡邊】山村留学の基本的な考え方と、そのメリットとデメリットについて。

【教育長】メリットは、地域コミュニティの維持や活性化が期待される。デメリットは、教職員や受入家庭への負担が増加する懸念や、財源確保や人的資源の確保の問題。

【渡邊】祖父、祖母、叔父、叔母など、親族里親による山村留学の考えは。

【教育長】様々な課題があり、相当な準備が必要となる。総合的に考えて現実的ではないと判断している。

【渡邊】あらゆる方式を含めた山村留学導入の考えについて。

【教育長】山村留学の推進ではなく、持続可能な学びのシステム構築を最優先に考え、五ヶ瀬で学びたい、学ばせたいと言っている思いが伝わるよう努める。



かい よしお
甲斐 義則 議員

親子給食

【甲斐】来年9月からの親子給食について現在の進捗状況を伺う。



【教育次長】整備工事は、三ヶ所小学校給食室前室工事、エアコン設置工事が実施済み、三ヶ所小学校給水工事と坂本小学校食缶移動動線工事は3月完了を予定している。備品購入は食器戸棚と掃除用具入れは購入済み、3層シンク、配送車2台は今年度中に購入予定である。

【甲斐】何名での調理業務になるか。

【教育次長】4名体制で予定している。

【甲斐】職員の負担軽減、安全・安心な給食の提供のためにも、任用職員は有資格者、知識を持つ

ている者を雇用すべきと思うが、考えを伺う。

【教育長】栄養教員が一緒にいるような悩みについても相談にのり、指示をした職員への負担や心配事についても改善が図られるように努めて行く思いである。

【甲斐】休憩室、更衣室、トイレ等の環境整備について伺う。

【教育次長】朝の事務作業等は、会議室の使用を協議中である。着替えについては、時間をずらして行うよう検討している。トイレについては、休憩室横トイレを男女兼用として、職員用女子トイレの個室1室を女性調理職員専用として使用できるように協議中である。

【甲斐】更衣室が男女兼用はよくないと思うが、調理室横にスペースがある。そこに、新たに更衣室、休憩室を設置するといったことは検討されなかったのかを伺う。

【教育次長】来年度実施に当たっては、現在のス

ペースを利用するという事で準備が進められている。

給食無償化

【甲斐】物価高騰の影響を受ける子育て世代の負担軽減のためにも給食無償化が必要だと考える。内閣総理大臣の所信表明で給食の無償化が来年度4月からあったが本町の考えを伺う。

【町長】学校給食法において、給食費は保護者の負担となっており、規定にのっとって費用を徴収している。物価高騰の影響で材料費が上がっているが本町では、米代・牛乳代を負担している。

【甲斐】国の支援があり、無償化となった場合の本町の考えを伺う。

【町長】危惧すべきことはあると思うが、無償化になれば当然そのようなことになっていく、まだまだ混乱が予想されるといふことであり、我々の立場で議論しながら国の動きを捉えていきたいと思う。



おがさわらまさたろう
小笠原将太郎議員

五ヶ瀬町におけるDX推進状況

【小笠原】現時点での進捗状況は。

【総務課長】今年度から毎月1回作業部会を開催し、各課の取組案の検討や研修会を開催している。

行政サービスの効率化は、事務事業評価と予算編成のための事業計画を連携し、職員各位が行政経営を意識した業務遂行に当たる環境づくりを目指すために行政経営システムを導入し、現在進行中の当初予算の編成作業から活用している。

住民の利便性の向上では、公共施設予約システムを導入し、Gパーク及び町民センター使用申請と施設の開設の簡略化を目指している。また、各種申請書における書かない窓口の実証実験に取り組み、これから作業部会等で検証する。また、費用面

ではハードルが高いものの、町村会が主催する電子入札に関する共同調達のワーキング会議に参加し、意見交換を行ってきたい。

教育委員会では、高齢者向けのスマホ教室を実施している。

情報の共有と防災力の向上は、本町LINEの機能を拡張と同時に、従来からの防災無線のメール配信を行っている。

ハンディ型プロジェクトを導入し、スムーズな会議の進行とペーパーレス化を図る。

試行中ではあるが、将来の運用構築に向けて電子母子手帳の個人向けアプリの普及啓発を行っている。作業部会で情報共有をしつつ、DX推進についてのアイデア出しを実施している。

【小笠原】作業部会の構成は。

【総務課長】情報化推進委員会の下部組織として、各課の担当者レベルでの実動部隊の部会である。

【小笠原】五ヶ瀬町デジタル化推進計画の中にもうたわれている「一人も残さない」はどの様に重視しているのか。

【町長】努力目標として、我々はそういう気持ちで取り組んでいます。

住民への情報発信の充実

【小笠原】スマートフォンは多くの住民が利用している。情報発信ツールとして、日之影町では「ひのかげアプリ」を導入して活用している。五ヶ瀬町でも導入し住民への情報発信を充実させる考えはないか。

【総務課長】過去に西臼杵3町の担当者レベルでアプリに導入について意見交換を行ったが、1つの自治体ではアプリに見合う情報量が薄いことと導入経費がかなり高かったことから、本町は比較的安全な経費で実施することを考慮し、他の手法を選択している。

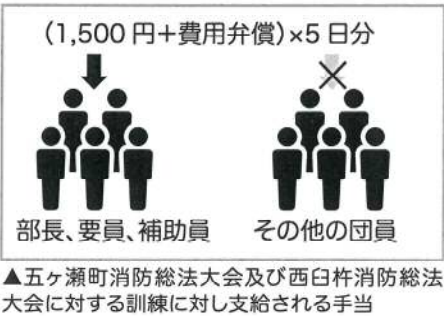


よしだ ゆうたか
吉村優議員

操法大会に向けた訓練の出勤手当

【吉村】五ヶ瀬町消防団員の定員、任免、給与、職務等に関する条例第12条第2項第1号には「訓練の場合1回につき1500円」とあるが、操法大会に向けた訓練に参加した全団員にその出勤手当が払われていない理由は。

【町長】訓練の出勤手当は、非常呼集等の訓練、郡の模範操法に対して支給している。町消防操法大会については、五ヶ瀬町消防団の年間行事である



ことに加え、有事の際の対応として消防団が身につける行動及び動作の訓練として捉え、団員年間報酬の範疇として取り扱っている。ただし、訓練5日分に限って、部長、要員、補助員1日について1500円の報酬と費用弁償を支給している。郡消防操法大会も同様の取り扱いである。

【吉村】町大会や郡大会に参加する者には年間報酬の範疇を超えた、いわゆる競技的要素に対する訓練という名目で手当を支給しているということか。

【総務課長】お見込みのとおり。

自主防災組織と各種団体構成員の重複や兼務

【吉村】自主防災組織の現状について伺う。

【総務課長】国県が示した自主防災組織の取組方針に基づき、平成20年から各区に呼びかけ、現在9つの区で組織され、災害

時の避難行動支援や避難の呼びかけ等を行っていたらいい。

【吉村】自主防災組織の考え方について伺う。

【総務課長】自主防災組織は、地域活動の一つとして自助の取組だと解している。町も防災士養成に対する補助制度を進めている。養成した防災士がどのように自主防災に参画していくかが今後の課題である。

【吉村】自主防災組織の構成員である組長が消防団員でもある場合に、災害時に組長として行動するのか、消防団員として活動するのは、そのときの状況や地域の実情に応じて取り組んでいくということか。

【町長】平成20年くらいから防災組織はあるが、当時は消防は別に機能するような仕組みだった。今、人数が減ってくれば、各地域の自主防災組織で自前の考え方をきちっと成立していくことが重要かなと思っています。



佐藤 成志 議員

五ヶ瀬町の農業を守る施策は

【佐藤】地域計画策定の経過と農業施策にどの様に活用して行くのか。

【町長】町内11か所で131名の方々が参加。10年後に残したい農地とそうでない農地の切り分け作業を行った。行政区単位で14の地域計画を策定した。

今後の活用は、地域での話し合いに基づいた農地の集積、集約化を促進する。

農地、水路等の整備計画や中山間地域直接支払制度での加算の取組を行う上での、基礎資料として活用予定。

【佐藤】具体的な対策は。

【農林課長】高齢化、担い手不足対策として、県も進めている第三者への継承など、新たな担い手の確保にも取り組む。

【佐藤】小規模農家(兼業

農家等)に対する支援は。

【農林課長】規模拡大や安定的な農業経営を目指す農家への支援を行っており、経営規模の区別は行ってない。支援は国・県事業においては、要件に制約はあるが、該当するものがある。積極的に活用している。



【佐藤】農作業受託支援組織の設立検討は。

【農林課長】個人的に農業を受託等されている方、町内6つの初搾り組合がある。まずは、この様な組織の実態調査を行い現状の把握をする必要がある。農業委員会や関係機関と連携しながら検討をしていく。

中山間直接支払交付金での広域ネットワーク加算や、スマート農業加算を活用して、地域自らによる共同活動の取組など合わせて図っていく。

【町長】町独自のアンケート調査、農業センサス等様々なものを持って、農家の方々と話し合い、更にスピード感を持って取り組む。

【佐藤】JAの総代会資料によると、五ヶ瀬町の農産物販売高は、令和元年約7億6千万円、令和6年約6億2千万円となっており、5年間で1億4千万円の落ち込みとなっている。農業収入の減少は町の経済に及ぼす影響が大きい。その対策や考えを伺う。

【町長】町づくりには外貨を稼ぐことが基本的な考え方である。農業の方々が農産物を外に出してその金が入り、それで町内が潤っている。町としても当然ながら農家を支援してきた。

小規模農家・大規模農家には関わらず、頑張つてやろうという農家には補助金を含め、必要なものを取り組んで行く。受託以外にも様々な課題があるので、総合的に取り組み、地域の農業を守る。

【町長】町独自のアンケート調査、農業センサス等様々なものを持って、農家の方々と話し合い、更にスピード感を持って取り組む。

総務農林常任委員会所管事務調査報告

●赤谷地区建設予定町営住宅の進捗状況及び今後の工程

所得による入居制限の無い一般住宅建設は、移住定住を進めるうえで重要な条件と考えられる。

現在、地域住民と意見交換を行い、その意見も参考にしながら順調に進められていると感じた。今後も住民との協議を重ね、理解を得ながら慎重に進められたい。

また、地域の特徴を生かした木造にこだわり、町産材の使用や、五ヶ瀬の寒さ等の自然環境に対応した住宅を望むものであり、また将来赤谷地区の活性化に繋がることを期待する。

●スキー場誘客に向けた活動実績及び今後の計画

令和6年度の誘客活動について、SNS等を

利用した情報発信が行われた。閲覧者数の集計によれば、一定の集客効果があったと思われる。今後さらに企画課と株式会社五ヶ瀬ハイランドが一体となり取り組むべきであるが、特定の業者に依存し続けるのではなく、新たな可能性と経費の削減を模索することも必要と考える。

今シーズンには昨シーズンの来場者数を大きく上回ることを期待する。

●道の駅構想に伴う特産センターの視察

駐車場部分は九州中央道の工事に伴う残土により拡張整備が進められている。

特産センターは経年劣化が進み、調理場をはじめとする作業環境も非常に悪く、改修工事では対応ができないと思われる。中途半端な施設とならないよう新築建て替えを強く要望する。

総務農林常任委員会 委員長 甲斐義則

行政報告

令和7年第4回定例会初日(12月1日)に、行政報告を受けました。なお、行政報告については採決はありません。

総務農林常任委員会

総務農林常任委員会に付託された以下の案件について、12月4日に委員会を開き、審議した結果、採択と決定しました。

●建設工事発注に関する要望書(一般社団法人宮崎県建築協会会長 松本純明)

12月定例会 傍聴者数 (本会議)	
1日	18人
4日	23人
9日	11人

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は、3月開会予定です。傍聴の申し込みは、お気軽に議事事務局にお尋ねください。

五ヶ瀬町議事事務局
0982-8211711

行財政改革特別委員会《委員長報告》

委員長 渡邊 孝

●令和6年度（五ヶ瀬ハイランド・五ヶ瀬ワイナリー）収支決算報告について

資料1			資料2		
五ヶ瀬ハイランド (円)			五ヶ瀬ワイナリー (円)		
年度	令和5年度 (第30期)	令和6年度 (第31期)	年度	令和5年度 (第21期)	令和6年度 (第22期)
スキー場売上	0	106,393,051	ワイン館売上	51,854,645	54,517,389
木地屋売上	109,885,821	92,966,456	工場・レストラン・その他売上	101,389,181	101,238,351
会社総売上	109,885,821	199,359,507	会社総売上	153,243,826	155,755,740
売上原価・販売費・一般管理費	153,164,209	280,705,589	売上原価・販売費・一般管理費	175,266,656	187,638,901
営業利益	▲43,278,388	▲81,346,082	営業利益	▲22,022,830	▲31,893,161

資料1			資料2		
五ヶ瀬ハイランド (円)			五ヶ瀬ワイナリー (円)		
町運営補助金	30,000,000	30,000,000	町運営補助金	10,000,000	25,000,000
誘客促進支援金		10,000,000	ぶどう補助金	8,867,243	7,398,870
施設整備補助金		10,000,000	コロナ補助金	10,000,000	
コロナ補助金	20,000,000		合計	28,867,243	32,398,870
合計	50,000,000	50,000,000			

*(第3セクターに対する町からの補助金・支援金・給付金)

株式会社五ヶ瀬ハイランド、五ヶ瀬ワイナリー株式会社から、それぞれ前期収支決算報告を受け、資料1・資料2を添えて報告する。

●株式会社五ヶ瀬ハイランド

スキー場が3シーズンぶりの営業となったが、来場者数は19,847人で会社が目標にしていた3万人には届かず、営業日数も75日となった。施設の老朽化もあり、修繕費や備品の購入に多くの経費を要した。木地屋の宿泊状況は、団体宿泊客の減少や従業員不足による宿泊の制限を余儀なくされ、売り上げを大きく落とした。

スキー場の経営については、今期の営業実績をもとに、今後の見通しを含め総合的に判断し、町民の意見を尊重した適切な改善を望む。木地屋の宿泊とレストランの集客については、従業員一丸となった営業努力をお願いする。

●五ヶ瀬ワイナリー株式会社

五ヶ瀬ワイナリーは、町内でも絶景が見られる素晴らしい場所だと思う。県道8号線の改良工事完成を見据え、今後はその特色を生かした、若者やファミリー層、またアウトドアやキャンプ・ツーリングのニーズに適した観光開発が必要だと思う。ワイナリーは、五ヶ瀬町の未来の観光発展の重要な拠点であるので、慎重かつ夢のある戦略を期待する。

また、ぶどう生産者あつてのワイナリーであるので、ぶどう生産意欲向上のためにも、生産者と充分連携を図り、安定したぶどうの生産とワインの製造・販売に努めていただきたい。

10月30日にメディキット県民文化センターで森林・林業・林産業活性化九州大会が、九州各県の森林・林業活性化促進議員連盟の各議員及び林業団体関係者など約千人以上の参加のもと開催されました。

大会では、株式会社山田憲明構造設計事務所代表取締役山田憲明氏が「みんなでつくる地域木材を活かした大きな木の建築」と題した基調講

森林・林業・林産業活性化九州大会



演、株式会社林田樹苗農園代表取締役林田尚幸氏の「植栽適期を待たずに植えられる育苗」「苗農園の通年雇用」「二酸化炭素を活用した育苗技術挑戦」という事例発表があり、非常に有意義な学びとなりました。

最後に大会決議が全会一致で採択され、魅力ある林業を創出することで持続可能な森林・林業・林産業を確立していく決意をしました。

西臼杵郡の議員で有害鳥獣対策研修



西臼杵郡森林林業活性化協議会は10月31日に3町の議員20名で宮崎市の株式会社リファクトリーへの視察研修を行いました。同社は、イノシシやシカなどによる農作物被害の対策として、有害鳥獣駆除や狩猟などで利用する捕獲罠や被害対策グッズを開発・販売している会社で、全国的に事業を展開しています。

研修では、小型獣用から大型獣用までの箱罠やくくり罠など色々な罠の展示もあり、構造や設置方法などの説明を受けました。

令和6年度においては、西臼杵3町の農作物被害総額が約2千7百万円、捕獲頭数がイ



▲捕獲罠の説明を受ける研修参加者

ノシシ3,047頭、シカ3,526頭だったようです。

現在、山間地において、捕獲罠は必要不可欠な物であり今後、農作物被害が縮小していくことを願うものであります。

本協議会も関係機関との連携強化を図りながら、獣害対策につとめてまいります。



町村議会広報研修会

宮崎県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会に宮崎県自治会館で開催され、県内町村議会の議会広報編集委員が参加しました。

ディア戦略について説明をしていただきました。

研修は、「如何にして議会広報を見てもらうか」に主眼を置いた研修で、その仕組みと技術内容(編集体制やページレイアウト、表紙デザイン、文章等)について、座学と隣席者との対話による学びを融合した内容でした。講師は、様々な議会広報を参考に指摘事項を的確にした上で、住民の行動変容を実現するメ

その後、講師から各町村議会広報の添削が行われたのですが、昨年の研修で指摘されていた点を対策して10月発行の議会広報を作成したところ「素晴らしいリニューアル」との評価をいただきました。ただし、「文章のみの頁が多いのであるべく写真を使用する」との指摘も受けました。

今後さらに、住民のみなさんに手にとつていただき、誰かに話し、伝える議会だよりを目指していきます。

研修の様子。各町村議会広報が添削された。

第65回宮崎県町村議会議員大会

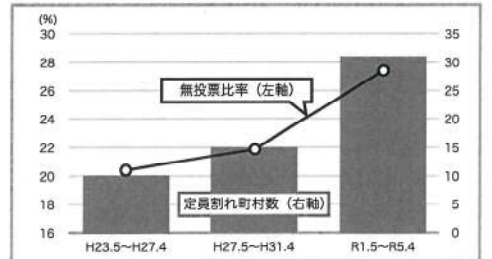
来賓に河野宮崎県知事、外山県議会議長、高妻町村会長（高原町長）を迎え、第65回宮崎県町村議会議員大会が開催され、五ヶ瀬町議会議員9名、事務局2名の11名で参加しました。前回大会の決議事項の経過報告、大会宣言、13の決議案が上程され、いずれも満場一致で採択されました。

大会に合わせ、全国町村議会議長会議事調査部長飯田厚氏による「議員報酬の見直しに向けた手順」と題した講演がありました。昨年は、大正大学地域創生学部の江藤俊昭教授による「議会改革による『議員のなり手不足』打開の道」と題した講演があり、なり手不足の原因や女性議員を増やすための対策、議員定数



▲第65回宮崎県町村議会議員大会の様子（高原町ほほえみ館）

や報酬の考え方などを学んでおり、今回はその続きとして、40年以上経過し実態に即していない議員報酬の全国標準（首長給与月額約30〜31%）の廃止や活動内容を踏まえた原価方式の考え方等、実践的な内容を多く含む講演でした。



▲町村議会議員選挙における無投票率の推移（全国町村議会議長会調べ）

宮崎県町村議会議長会主催の「幹部議員研修会」が宮崎県自治会館で開催され、県内町村議会の幹部議員が参加しました。

開会あいさつで松浦会長は、議員の成り手不足や報酬問題は喫緊の課題であり、今後の議員活動や議会機能の強化が不可欠であると述べました。

講演では、地域政策塾21代表の寺島渉氏が「議員の成り手不足対策と議会改革の推進」をテーマに講演。全国の町村議会の約6割が成り手不足の状況にあり、無投票や定数割れの自治体が増加し

ている現状が示されました。また、先進的な議会の取り組みとして、議員養成講座の開講など人材育成の事例が紹介されました。

寺島氏は「議員定数は民主主義の論理、報酬は財政の論理であり、別々に考えることが重要」と指摘しました。参加者は、住民に開かれた議会づくりや若い世代への魅力発信の必要性を改めて認識しました。

◀研修の様子（宮崎県自治会館）



成り手不足の対応を学ぶ

今後の予定

- 1月15日 議会全員協議会
- // 新得町議会との意見交換会
- 21日 県森林・林業活性化研究委員会@宮崎市（甲斐義則議員）
- // 郡森林・林業活性化協議会要望活動@宮崎市（総務農林委員長・副委員長）
- 29日 宮崎県町村議会議長会全議員研修会@宮崎市
- 2月10日 国スボ行幸啓要望活動@宮崎市（議長）
- // 公民館長会との意見交換会
- 16日 農政局・九地整要望活動（議長・副議長）
- 17日 宮崎県北部広域行政事務組合第2回組合議会@延岡市（常任委員長2名）
- 18日 宮崎県町村議会議長会定期総会@宮崎市（議長）
- 3月未定 令和8年第1回定例会
- 23日 九州中央自動車道建設促進大会@延岡市（議長）

議会報告会への参加ありがとうございました



貴重なご意見や質問への回答は、令和8年4月発行の議会だよりに掲載を予定しています。



▲五ヶ瀬西IC（仮称）付近の工事の様子。



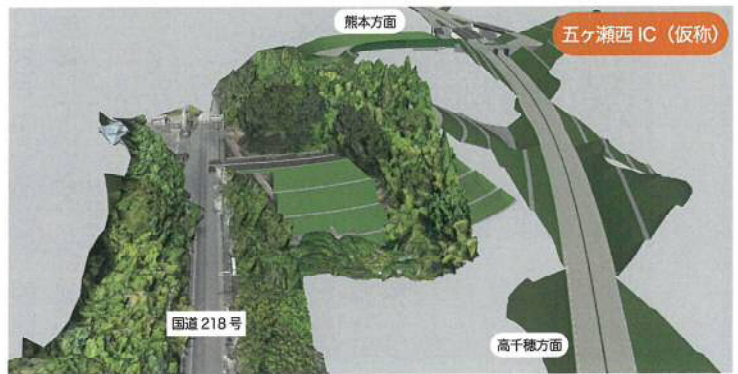
▲五ヶ瀬西IC（仮称）付近の現地視察の様子。

【図3】五ヶ瀬西IC（仮称）付近工事完成予想図▶

●五ヶ瀬西IC（仮称）
 森林組合五ヶ瀬支所付近では、五ヶ瀬西IC（仮称）の工事が進んでいます。完成予想図は図3をご覧ください。
 なお、五ヶ瀬西IC（仮称）は、熊本方面へのみアクセスするハーフICで、ここから高千穂町方面へ行くことはできません。

要望活動の継続

議会としては、今後も関係機関と連携を図りながら、九州中央自動車道の早期整備実現に向けて積極的に取り組んでまいります。



▲九州中央自動車道建設促進協議会事務局 宮崎県県土整備部高速道路対策局 令和7年6月発行資料より



農林水産祭の農産・畜産部門で内閣総理大臣賞に選ばれた株式会社宮崎茶房取締役の松本尚紘さん(34)。



日本茶アワードフレイバーティー部門でプラチナ賞を受賞した株式会社緑碧茶園五ヶ瀬茶園の藤本航太さん(28)。

株式会社宮崎茶房が、本茶アワードフレイバーティー部門で最高賞のプラチナ賞、またフランス・パリの日本茶コンクール JAPANESE TEA SELECTION PARIS で金賞を受賞しています。

五ヶ瀬のお茶の可能性を探る。



株式会社宮崎茶房

▼問い合わせ
電話：0982-82-0211
▼ホームページ
<https://www.miyazaki-sabou.com>

緑碧茶園五ヶ瀬茶園

▼問い合わせ
電話：0982-82-1379
▼ホームページ
<https://gokasemidori.stores.jp>

五ヶ瀬のお茶は、伝統的な釜炒り茶を中心とした独自の「香りと清涼感」という強みだけでなく、生産者が有機JAS認証を取得し、烏龍茶や紅茶など多様な茶葉の製造にも挑戦しています。

6次産業化を進め、お茶のシヨップや釜炒り体験受け入れ、お茶の試飲、ワークシヨップなどを通して、五ヶ瀬町の多様なお茶の魅力を国内外に発信し、新たな顧客層への販路拡大だけでなく、観光振興にも繋げようとしています。



釜炒り茶だけじゃない五ヶ瀬茶



編集後記

議場で交わされた言葉は、すぐに形を持つものもあれば、季節を越えて育っていくものもあります。そうした言葉の積み重ねが、日々の営みの中へ少しずつ溶け込み、暮らしの風景へとつながっていきます。この議会だよりが、新しい一年の途中でふと手に取られ、町のこれからのを思う静かな時間へと、そっと導く一冊となりますように。今年もよろしくお願いたします。(矢野)

発行責任者
議長 甲斐政國
議会広報編集委員会
委員長 吉村 優
副委員長 矢野 宏
委員 黒木 孝次
甲斐 義則
小笠原 将太郎
田中 春男